

令和2年度 授業改善推進プラン(課題分析と授業改善策)

	課題分析	授業改善策
国語	「話すこと」「書くこと」では自分の思いや考えが明確になるように構成を考え、工夫して話したり、書き表したりすることに課題がある。	① 「話すこと」では自分の考えを発表する場を多く設ける。 ② 「書くこと」では工夫した文章構成や記述の仕方について学習モデルを活用して提示する。
社会	社会科への興味関心は高く、見学や調べ学習には意欲的である一方、覚えることが多い科目としてとらえている児童にとっては苦手意識高い。また、身に付けた知識や感じたことを言葉にして表現する力に個人差が大きい。	① 児童にとって身近な題材を教材化するなどの工夫をすることで、意欲的に活動できる学習を展開していく。(ICTの活用) ② 地図や地球儀・年表資料などを用いた調べる活動を行い、読み取り方を繰り返し指導する。分かったことを文章や図、表にまとめたり、話し合ったりして読み取る力を高める。
算数	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などの理解していない。	① 毎週3回、東京ベーシックテストで正答率70%以下の練習シートを学習5分前に実施し基礎的・基本的な概念を習得する。 ② 数学的な表現力を育成するため、「ねらい」「課題」「自分の考え」「まとめ」「振り返り」など、分かりやすくまとめるノート指導に継続して取り組む。
理科	理科が好きで、観察・実験に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、明確に課題を把握せずに観察・実験の結果だけで満足し、結果に対して考察することを苦手としている。	① 学習課題に対しての内発的動機を高める課題設定の工夫をする。 ② 課題解決学習の流れを組み立て、一人一人が結果を基に考察できるようにする。またその時間を確保する。
生活	観察などの活動・体験をしたことを振り返る際に、自分の言葉で表したり、伝え合ったりすることに課題がある。	具体的な活動や体験での気づきを確かなものとするために、振り返りの時間を十分にとる。
音楽	音楽から聴き取った、音楽を形づくっている要素と感じ取ったことを結び付けて考え、自分の言葉で表すことが課題である。	① 音楽を形づくっている要素について音楽活動を通して理解させる。 ② それらが生み出すよさや面白さ、美しさを言葉にして共有する。
図画工作	前学年までの学習経験を生かし、自分で創意工夫して作品を製作していくことに課題がある。	① 既習事項を導入で振り返る。 ② 必要に応じて実際にやって見せることで、表現のヒントとなるようにする。
家庭	日常生活と比較的関りが強い内容ではあるが、学習内容と児童の意識を結び付け、考えたり実践したりすることに課題がある。	① 1時間の授業で扱う題材に関する映像資料を、ICT 機器を活用することで、視覚的な支援をする。 ② 指導を短時間で行い、作業時間の確保をする。
体育	ただ運動するだけであることが多く、目標を意識したり、ねらい達成のために考えたり試してみたりすることに消極的な面が課題である。	① ねらいを明確にして、評価基準を児童に示す。 ② いい動きの動き方やコツを考えさせたり、モデルや掲示資料を示したりして、運動のヒントになるようにする。
外国語	発音に自信がないことから、コミュニケーションに消極的なことが課題である。	① 単語だけでなく、フレーズで発音練習をする。ALTの発音を繰り返し、大人対子ども達全員で十分にやり取りをして、定着した上でアクティビティに入るようにする。 ② 間違えても頑張ったことを認める雰囲気を作る。